

After 11

小松崎 瞳
・
工藤 雪菜

肌寒くなってきましたが、子どもたちは毎日元気いっぱい過ごしています。どんなことにも、意欲的でやる気満々！お手伝いしてくれる人？と声を掛けると多くのお友だちが手を上げてくれます。

また、「ごちそうさまの時間だよ！」と自らお友だちに声を掛ける姿も見られます。とても頼もしいです♪

10月からアフタークラスも園庭遊びSTARTしました。

今回の園日よりでは、園庭遊びや室内遊び、製作の様子をお伝えします😊

園庭遊びSTART

「アフターでも園庭行きたい！」と心待ちにしていた子どもたち。

ついに、アフタークラスでも10月から園庭遊び開始です。

まずは、アフタークラスでの約束をみんなで確認しました。

砂場は使用しない。年中・年長クラスはツリーハウス2階まで。

年少は1階で遊ぶこと。様々な約束を子どもたち一人ひとりが理解した上で園庭での自由遊びが出来るようになります。

園庭での子どもたちの様子を見てみると、年長・年中クラスはスロープ、年少・最年少クラスはトランポリンが大人気でした♪

トランポリンは5人までという約束があるのですが、

自分たちで人数を確認しながらも心ゆくまで跳んで遊んでいます。

異年齢で乗る時は体格の差もあるので気をつけながら遊べるよう声を掛けたり一緒に遊んだりしたいと思います。

また、門から年少棟までかけっこしたり、

だるまさんがころんだしようと誘って遊んだりする姿も見られます。

落ち葉やドングリを拾って集めてみたり、虫を見つけたり

自然を感じながら、今後も園庭遊びを楽しみたいと思います。



製作『秋の木』

秋になると紅葉して赤や黄色の世界が広がります。

そんな景色をイメージしながら、製作「秋の木」を行いました。

両面テープを取ったり、細長く切っておいた紙をクルクル指で巻いたりと全てが細かい工程なのですが、指先を使って一生懸命作る姿が見られました。

作っていると「トンネルみたい！」「メイポールみたい！」と面白い発言も聞こえてきましたよ。

「いいでしょー！」と完成した秋の木を友だちの保護者の方や通りすがりの先生方にも嬉しそうに見せてあげる姿も見られました。

今後も子どもたちが思わず自慢したくなるような素敵な製作を考えてまいります。



11月 Pearl Class



折り紙製作 ～どんぐり～



今月は日本の動揺『どんぐりころころ』の世界を、折り紙、パッセル、絵の具で表現しました。朝の会で唄っている1番と2番の歌詞に合わせて進めていくと折り紙製作が更に楽しくなり、少しずつ仕上がっていく色画帳を毎回嬉しそうに開いてみるようになってきましたね。また、折り紙を折ることだけでなく、糊の使い方も慣れ、小さなシールや指絵の具も夢中になっているパールクラスさんは座る姿勢も自然とよくなってきていますね。来月も、楽しみながら少し難しいことにもチャレンジしていきたいと思います😊



ナポリタン スパゲッティ



ある日の1day'sさんはいつもの朝の会を少しアレンジして、紙皿でシールあそびを、ハサミの活動で特製ウインナーとトマトを切りました。なんだろう？とワクワクしている様子のママと子どもたち。さあて、いよいよバイキングの始まりです。まずはシールで装飾したお皿を手に持ち、きちんと順番に並びます。次にケチャップ色の毛糸のスパゲティをのせて、自分たちでカットしたトマトやウインナー、他にピーマンや玉ねぎ、粉チーズをお好みでトッピング。ウインナーやチーズがたっぷりのお友だちやピーマンが少なめのお友だち(笑)、ママのお勧めで彩りよく盛り付けたお友だちも美味しそうなナポリタンに、みんなにここに笑顔で完食です🍴ごちそうさまでした🌟

★今月の2day's★ 🍁落ち葉アート🍁



夏が終わると園庭には落ち葉がいっぱい！毎朝先生方がお掃除をしてくださっているのですが、それでもヒラヒラと落ちてきます。「落ち葉拾い競争よーいどん！」の合図で一瞬懸命集め始めた2daysコースのお友だち😊
強く握ると破けてしまうので丁寧に丁寧に貼りながらライオンのお顔を作りました。怖そうなライオン、優しいライオン…色々できました😊



◆『KAPLA』で遊びました◆

「KAPLA」ご存知ですか？海外生まれの造形積み木です。(カプラ＝連結装置という意味があります。)最初は触って木の感触をたしかめたり、匂いを嗅いでみたり😊2本で叩くと優しいとてもいい音もします🎵ひたすら床に並べるお友だち、自分の背の高さまでの積み上げに挑戦するお友だち…それぞれ考えながら集中して遊ぶ2day'sさんでした。



もしも～し
聞こえますか～



📰新聞紙遊び📰



1ageさんは、身近な素材『新聞紙』を使って自由にダイナミックな遊びもしましたね。ビリビリ～と破る感触や音を楽しんだり、グシャグシャにしてボールのように握ったり、くるくると丸めて望遠鏡にして覗いてみたり…ママと一緒に様々な遊びを展開していましたね。最後に先生が小さくちぎった新聞紙のシャワーを降らせると声をあげて大興奮!!お友だちと一緒に笑い合う姿が見られました🎵

🎃ハロウィン👻



街中でかぼちゃやおばけのモチーフをたくさん目にするようになる10月。子どもたちにとってのお楽しみはハロウィンですね。今年はパールクラスでもミイラ男とコウモリを作りました👻🦇トイレットペーパーの芯に折り紙を巻いて少し工夫をし、長～い包帯をぐるぐる巻いたり翼を貼ったり、目や牙を付けると…個性豊かなミイラ男とコウモリの完成です。何とも言えない表情がたまらない作品になりました💖

🍰木の実ケーキ作り🍰



公園に行き ふと足元を見るとどんぐりなど木の実がいっぱい…秋を感じますね。いろいろな種類のどんぐりや松ぼっくり・段ボール・紙粘土を使ってケーキを作りました。大・中・小の段ボールを自分で選んで、自由にデコレーション。おうちで食べる事を想像しながら作ったのかな？大きさも色々可愛く出来上がりました。

⚠️どんぐりをお家で保管する際の注意点
どんぐりは穴が開いていなくても虫が出てくる事があります。
①茹でる②冷凍するなど下処理をし、しっかり天日干しをしてから保管しましょう👉

🍜ラーメン作ったよ🍜

何をトッピングしようかな??
海苔をきって～



いただきます🍴

🎵今月の歌🎵

🌲大きなくりの木の下で🌲
おおきなくりのきのしたで
あなたとわたし
たのしくあそびましょう
おおきなくりのきのしたで
おおきなくりのきのしたで
おはなしましょ
みんなでわになって
おおきなくりのきのしたで
おおきなくりのきのしたで
おおきなゆめを
おおきくそだてましょ
おおきなくりのきのしたで



🌱登園日🌱

- ★1age 1day's(月)
11日・18日・25日
- ★2age 1day's(金)
15日・22日・29日
- ★2day's(火・木)
5日・7日・12日・14日
19日・21日・26日・28日

Pearl Nursery School

11月

園服も夏服から冬服へと変わり、子ども達の身長も大きくなったなあと感じられるこの頃。

暑かった長い長い夏が終わりを告げ、朝晩肌寒さを感じるようになってきました。水分補給や部屋の温度に気を付けながら体調に気を付けて元気いっぱい過ごしていきたいと思っています。

Pearl Nursery Schoolの子ども達は生まれ変わった園庭で毎日思い切り身体を動かして遊んでいます。

2歳児クラスのお友だちはしっぽとりで汗びしょりになりながら熱戦を繰り広げています。

みんな負けたくないで、取られまいと色々な逃げ方を編み出し、それを取ろうと更に白熱していき、なかなか見応えのあるしっぽとりが繰り広げられています。

“いちについて、ヨーイ”の掛け声に合わせて、気をつけの姿勢から足を一歩後ろに引き、手は前に。

ヨーイの姿勢がとても上手になってきています。

ゴールで待っていると、みんなとてもいい表情で楽しそうに走る姿がとても可愛らしいです♪

引き続き、身体をたくさん動かして元気に過ごしていきたいと思います☆



ハサミで黒い画用紙を線の通りにジグザグに切ってもらいました。その画用紙を飲み物のパックへ張り付けたものに、窓のシールを貼るとステキなバッグの出来上がり！



そしてもうひとつの製作は秋の風を感じつつ、お日さまが出ると「暑い！」と汗をかいてしまう陽気の中、屋上で行いました。ボンドを水で薄めた液の中にガーゼを入れ、それを土台に乗せて調整！

乾いてから指で目と口を付けたり・・・
かわいいオバケランプの出来上がり♪



部屋の電気を消してオバケランプをともし、ハロウィン気分を味わいながら、おやつを食べたり、活動をハロウィン風にアレンジして行うなど楽しいこと盛りだくさん♪
子ども達もハロウィン気分をたっぷり満喫しました!!!

ひとりでできるもん

今、Pearl Nursery Schoolのお友だちは色々なことに挑戦中です。

2歳児クラスのお友だちは幼稚園入園に向けて、身の回りのことはもちろん、見通しを立て次に何をしたらいいのが自分で考えながら行動できるように頑張っています。

1歳児クラスのお友だちは、一人でできることを日々増やしている最中です。

ズボンの履き方、洋服の畳み方、食具の持ち方、帽子の被り方、靴の揃え方……。

まずはやり方を伝え、マリげなく補助をして達成感を味わえるようにしながら来年度までにできる！を目標に頑張っているところです！

是非、ご家庭でも子どもの“やりたい!!!”を“できた!!!”に変えられるよう寄り添ってあげてくださいね♪



今月のうた

『やきいもグーチャーパー』
『たきび』

朝の会で、毎日歌っている今月のうた。
かっこいい姿勢で歌えるようになってきました。
2歳児クラスのお友だちの姿勢を真似して1歳児クラスのお友だちも小さな手を一生懸命後ろで組み歌っています♪
今月も元気いっぱい、楽しみながら歌っていきたいと思います！

今月のえほん

『いまのきもちはどんないろ？』

子どもの表情、色とりどりの水彩の鮮やかさ、言葉。
それら全てがすごく調和して温かい世界になっています。
自分の気持ちを言葉で表現できるというのは大切だけど、言葉を話し始めたばかりの子ども達にはまだまだ難しいこと。
色で当てはまることで、気持ちを表現できるようになるのも面白いですね♪
自分の気持ちにぴったりの色を探す、どんな気持ちかな？と考えるきっかけとなる1冊になればいいなあと思います♪



INFORMATION

- ★11月14日(木) 15:30～ 園医(蒲田小児科)高橋先生による今年2回目の内科検診を予定しております。
- ★登校園時インターフォンを鳴らした際、必ずカメラに向かって身分証明書(ID)の提示をお願い致します。最近お忘れの方や首に下げたままの方が多くいらっしゃいます。子ども達の安全を守るためにもご協力をお願い致します。

BaBy Pearl Nursery 11

11月に入り、今年も残り2ヶ月になりましたね。日が暮れるのが一段と早くなり、肌寒く感じる日が増えてきました。そんなことを感じてるのは大人だけ…?と思うことも多々あるくらい子どもたちは元気に過ごしていますが、寒暖差で鼻水や咳などからの発熱も出始めてきているので体調管理を徹底してまいります。布団から出たくない…と感じる朝も、毎日カーテンを開けて光をたっぷり浴びて、早寝早起きで11月も元気に過ごして行きましょう☆

ルチルクラス

「やっていいことやいけないこと」や集団生活の中でのお約束、話を聞く時間、楽しく遊ぶ時間、園生活では様々な時間がある中で子どもたちは徐々にその「時間」を理解しようとしています。先生が悲しそうな顔をしていると「あっ！」と気が付きお山座りをして待っていてくれたり、話そうとすると真剣に目を見てくれる子も増えてきました。その中でもお友だちにつられて一緒に楽しんだり、先生の顔をチラッと見ながら試し行動をしたり「先生こっち見て！」とわざとしてしまう姿も見られますがステキな行動をたくさん見つけ認めていきたいと思っています。朝の会のフラッシュカードの時間では、先生の後に続けて声を出してみたり積極的に参加してくれる姿が少しずつ増えてきました。



走るの速い!!



先生のシッポGet!



真剣に話を聞いてます!!

ペリルクラス

お手伝いをしてくれる人が増えてきています。お片付けも積極的に参加してくれるペリルクラスのお友だち!先生がタオルを畳んでるとトコトコ駆け寄ってきて「私もお手伝いするよ」と声をかけてくれます。とても頼もしいペリルクラスのお友だちは、先生のお手伝いだけでなく自分のお支度もしっかり行っています。金曜日になると先生がクルクル丸めた布団を自分で探してロッカーにしまっています。その際に、似ている布団もあり戸惑う様子もあります。そこで保護者の皆様にお願ひです☆間違えないよう布団のゴムにお名前やマークなど書いていただくと子どもたちも分かりやすくお支度ができるかと思ひます♪これ僕のお布団!私のお布団!と探す姿も可愛らしいです(笑)



お隣へよ!

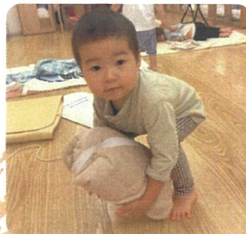


トコトコ...

今月のうた

「やきいもグーチーパー」
「たきび」

やきいもグーチーパーは可愛らしい振り付けがありますね。先月のバスごっこもそうですが、振り付けを踊りながら楽しんで歌っている姿が可愛らしいですよ。ぜひご家庭でも歌ってみて下さい♪



自分のお布団を見つけて...

ロッカーにしまいます!上手にお支度できるようになった!



お布団見つけて嬉しい♡

ハロウィンって？

ハロウィンって知ってる？から始まった今回のヨガあそび。『おかしとおうちくれませんか』という絵本を読み進めながら身体を動かしました。ハロウィンといったら「おばけ」というイメージが強かったみたいでお菓子が出てくると…お菓子もらえるの？とみんなワクワクしていましたよ。お菓子を貰う魔法の言葉「トリックオアトリート！」をみんなで唱えてスタート。絵本にはおばけだけではなく、忍者や犬、様々なお家の主も出てきました。その中でも、忍者のしゅりけんには釘付けの子どもたち。実際に、忍者になってしゅりけんをシュッと投げる真似をしておばけ退治をしました。BaBy Pearl Nurseryの子どもたちはみんな真似っ子が上手になってきましたね。最後にはお菓子のおうちが登場し、みんな目を輝かせて「こんなお家に住みたい…」と口ずさんでいました。お菓子のおうちは憧れですよ☆ハロウィン楽しめたかな…？



しゅりけんシュッ！
おばけ退治！



バニラエッセンスどんないかな？



おばけだぞー！
どう？怖い？

スライス！！

とうきょうすくわくプログラム第3回目は、HIKARI to tableを使い野菜の中身を覗いて見ました。みんなが見覚えのある野菜（にんじんやキュウリ等）をまずは先生が包丁でスライス！みんなに野菜のお腹はどうなってるのを見てもらったり匂いを嗅いでみたり、ちょっと触ってみたり…。玉ねぎはみんな声を揃えて「からい！」と言っていました。そしてついに光に当てて野菜のお腹を見てみました。すると大発見！きゅうりのお腹にはなにがポツンとしたものが…みんなは「虫？」「ミッキー？」など様々な意見が飛び交いましたがタネと聞くと「種食べれるの？」と不思議そうに質問してくれました。色々なお野菜が出てきた中でみんなが「あっ」となったのは特別枠のオレンジでした。あまーい匂いにみんなついペロッと食べてしまいそうでしたが我慢している姿が可愛らしかったです☆たくさん興味を持って、楽しんでくれましたよ。



毛糸選ぶよ



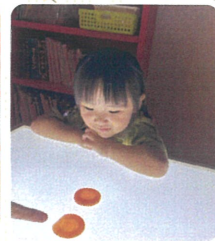
私はオレンジ！！

クモの巣

今回のハロウィン製作は「蜘蛛」を作りました。蜘蛛といったらみんな怖いイメージを浮かべてみたいですが実際に作ってみたら「蜘蛛かわいいじゃん！」と愛着が湧いていました。まずは絵の具。新聞紙をくしゃくしゃにすると不思議な模様にはスタンプできる事を知った子どもたちは手が止まりませんでした（笑）細い毛糸を小さな穴に通す作業では途中、集中力の切れてしまふルチルさんもいましたが最後まで頑張れました☆色々な毛糸の色がありました。ハロウィンっぽい紫やオレンジ、みどりが人気なように感じました。みんなハロウィンを認識できているのかな？と感じるくらいでした。蜘蛛の位置や表情もルチル、ベリルのお友だちでだいぶ違って個性豊かです。お家に飾ってハロウィンが一段と楽しくなっていたらいいなと思います。



1人も通し上手です！



☆ 冬になり、段々と寒くなってきています。午睡中の掛け布団ですが、夏用の生地だったり、手足が出てしまい少し小さいかな…？というお子様もいらっしゃると思います。もう一度ご確認ください致します。

☆ 降園時ですが、大好きなお友だちと一緒に帰れると嬉しくなってテンションが上がってしまう事があるかと思いますが、マンションの住民の方や、歩道を利用している方のご迷惑となり、自転車も往來しますので事故に繋がらないよう速やかなご帰宅のご協力よろしくをお願い致します。また、お子様と必ず手を繋いで園から出られるようお願い致します。



ルチル
ベリル

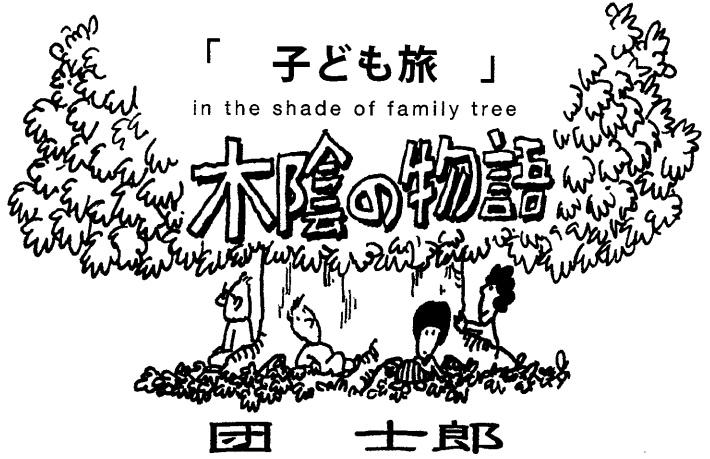




夏休み、兄弟だけで
旅に出すように
なってきただけは

子どもだけで北海道！
当時、小・中学生の
山村留学も
話題になり始めていた。

知人から見せられた
パンフレット。
「子どもの村」キャンプ、
北海道・滝上とあった。



田 士郎

心配という新たな問題は
出てくるが、とにかく
口うるさい親ではなくなれる。



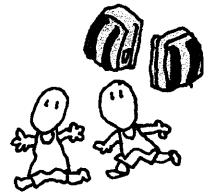
目の前に居なければ、
口出しすることもない。

長い夏休み、
一日中姿を見ていたら
なんやかや言いたくなるのは
当然だ。



そこには
本当の意味で
子どもの自由が
あるように思った。

ルールだらけの日常から
解き放つてやるのは、
短期間でもいいことに違いないと思った。

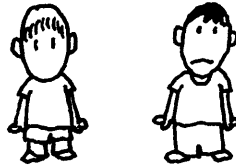


そして兄弟二人で、
参加させる事に決めた。



事前説明会が大阪で
行われるというので
一家で聞きに行った。

このキャンプは
業者など介在せず、
二週間〜一カ月という長期間の
割には参加費も安かった。



兄・三年生、弟・一年生。
二人ともまだ本当に
小柄な小学生だった。

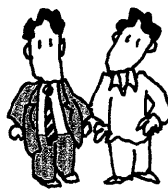
とはいえ、
よく分らないところに
ただ放り出すという
わけにはいかない。



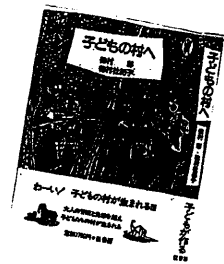
半月後、
二人は痩せて
へろへろになって戻ってきた。



とは言っても、このキャンプで
彼らがアウトドアに目覚めたなんて
話ではない。



五十歳近くになった息子達の中に
今も、大きな財産として
生きている。



このキャンプは四十年前以上前から
現在まで、創立者徳村夫妻から
後継者によって受け継がれている。

そして



と宣言した。



しかし別の形の旅行を翌年の夏休みから兄弟ですることになった。

能登半島、北九州と、ユースホステルを使って兄弟の夏休み旅は続いた。



この流れで私は混雑した夏休みの家族サーブというノルマから解放された。

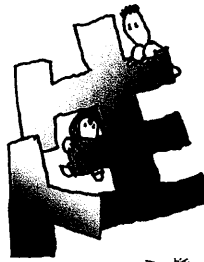


そして五年後には、自分達の意思でリベンジに北海道に向かった。



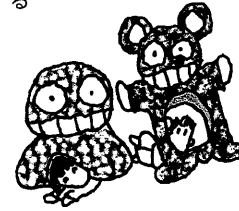
親の運転する車の中でずっと寝ていて、

目的地に準備されたイベントに参加させているだけでは、子どもにさせたい体験は十分ではない。



よく言われるように、旅は人生のミニチュアのような。

予定外の事態がしばしば起きる。



それをどう切り抜けるか、子どもであっても当事者の裁量である。

いつも親だけに守られている人は、世界をそういうものだとして生きていく。



そうではない体験の蓄積が、子どもの人生のその後に影響を持つのは当然だ。

だから「可愛い子には旅をさせよ」と、昔の人は言ったのである。

もっとも「ロバが旅をしたからといって馬になつて戻ってくる訳ではない」とも言う。



全くその通りだ。

自由に旅のできるロバに育てておくのが良からうというだけの話である。



“木陰の物語”
広がる! プロジェクト



<https://honblock.net/kokage/>

「木陰の物語」を読んだ感想や、あなた自身の物語をお寄せください。